

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | クオリティスクール | | 公表日 令和8年 4月 1日 | | | |
|---------|-----------|--|----------------|---------|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 20% | 80% | | 活動スペースの確保にしましては課題として受け止めさせて頂いているところがございます。事業所の移転も視野に入れ検討をさせていただきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | ガイドラインに則した人数配置は出来ていますが、より質の高い支援を目指して、状況に応じた支援体制の充実に努めてまいります。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 20% | 80% | | 集合住宅の一室での運営のため、完全なバリアフリー化には至っておらず、また複数の部屋で活動を行っていることから、情報伝達が迅速に行いにくい環境となっております。今後、事業所の移転も視野に入れながら、より安全で円滑な支援が行える環境整備について、慎重に検討してまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 20% | 80% | | 毎日清掃をしているが、机やパソコン、棚や配線などの物品が多くあるので、整理整頓を心掛けて、心地よく過ごせる環境づくりを行っていきます。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 20% | 80% | | 現在はスペースの制約により、必要に応じてこどもが個別の部屋や場所を使用する環境を十分に整えることができていませんが、今後は利用者一人ひとりが落ち着いて活動できるよう、環境の見直しやスペースの確保を検討し、より適切な支援環境の整備に努めてまいります。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 80% | 20% | 月1回の職員ミーティングを開催して、業務の方向性について話し合う機会を設けています。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | 設備等で改善が困難な場合を除き、ご意見を取り入れて改善に努めています。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | 職員ミーティングなど意見を把握する機会を設けて、業務改善に柔軟に対応することを行っている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 80% | 20% | 内部監査やアドバイザーからの意見を伺う機会を設けて、業務が正しく遂行されているかを確認するとともに、業務改善に繋げています。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | 研修の機会が多く、自由に受けることが可能な環境です。報告書を作成して上長に業務改善の意見を述べる機会も設けています。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | ホームページにより公表をしています。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100% | 0% | 面談の機会や日々のコミュニケーションの中で、こどもと保護者様のニーズを分析した上で、個別支援計画書の作成をしています。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | 現場の職員が積極的にアセスメントを行い、児童発達支援管理責任者が保護者様のニーズを分析するなど、支援に関わる職員が共通理解の下で、計画の検討を行うようにしています。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | 計画書の内容に目を通しているが、その場を優先した支援を行うことがあるので、計画書の内容を日々の支援により反映できるよう、職員間での情報共有や振り返りの時間を増やし、計画と実際の支援の連動をさらに強化してまいります。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 40% | 60% | | 標準化された分析や評価だけでなく、日々の行動など、現場の職員が支援中に適切な分析、評価するようにして、包括的に状況を確認するよう改善をしていきます。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | 個別支援計画書はガイドラインに沿った形で、こどもの支援に必要な項目を設定して、具体的な支援内容にしています。 | |

| | | | | | | |
|--------------|--|---|------|-----|--|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | 委員会活動で企画立案を行なうことで、チームとしての連携や役割分担の意識が高まり、より効果的で一貫性のある支援の提供につなげる工夫をしています。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 20% | 80% | | 日々の学習以外、課外活動のプログラムも提供しているが、機会が少ないので、今後は参加の機会を増やし、利用者一人ひとりが多様な経験を通して興味・関心を広げられるよう工夫してまいります。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 20% | 80% | | 学習に特化している事業所であり、集団活動はメインとしていないため、生活スキルや社会性を育む機会が限られています。今後は個別支援の中で、生活習慣や社会性を育む取り組みを工夫し、幅広い経験を積める環境づくりに努めてまいります。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | 前日までに職員配置を決定し、当日は職員間でミーティングを行うことで、情報や対応方針を共有し、連携した支援を一貫して提供できるよう努めています。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 80% | 20% | 送迎後に終業となっているため、当日中に振り返りの機会を設けることは限られておりますが、気づきの共有や、後日の職員ミーティングにおいて周知や改善案の検討を行う機会を設け、支援の質の向上に努めております。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | 学習内容については記録を適切に行っております。また、活動中に気づいた点については、活動後に職員間で共有し、改善案について話し合う機会を設け、支援の質の向上につなげています。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | モニタリングを通じて計画の見直しを行い、必要に応じて内容を適宜変更し、より適切な支援が提供できるようにしています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 100% | 0% | ガイドラインに沿った形で、個別学習とパソコン学習を組み合わせ、利用者一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を行っています。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100% | 0% | その日の学習の目標については、こどもと話し合いながら設定し、達成した際には喜びを実感できるような支援を行っています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、当該のこどもの状況を十分に理解している職員が参画し、適切な情報提供や意見交換が行われる体制を整えています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 20% | 80% | | 現在、具体的な事例はございませんが、関係機関との連携が円滑に行えるよう、あらかじめ体制を整えております。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100% | 0% | 学校や保護者の皆さまとそれぞれ連携を取りながら、状況の確認や情報の共有を丁寧に行っています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 20% | 80% | | 現在、具体的な事例はございませんが、関係機関との連携が円滑に行えるよう、あらかじめ体制を整えております。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 100% | 0% | これまでに具体的な事例はございませんが、弊社では就労継続支援事業や生活介護事業を展開しているため、利用者のニーズに応じた柔軟な対応が可能となっております。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 40% | 60% | | 専門機関との連携や助言を受ける機会が多く設けており、得られた情報や助言を支援に活かすよう努めています。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 100% | 0% | ダンス発表会や、ダンス練習を通じて交流の機会を設けています。これにより、他の子どもたちとの関わりや刺激を受ける経験を積むことができ、表現力や協調性の向上にもつなげています。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 20% | 80% | | 積極的な参加は行っておりませんが、情報共有や支援の質向上に向けて、内部での定期的な検討会や職員間の意見交換など、工夫した取り組みを行っています。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 60% | 40% | 主に送迎時に様子を共有し、保護者の皆さまのお困りごとやご意見を把握しております。また、いつでもご相談いただける雰囲気づくりを大切にし、安心してご連絡いただけるよう心がけています。 | |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 40% | 60% | | 今後はご家族への対応力向上を目的として、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、ご家族が参加できる研修の機会、情報提供の充実を図っていきたいと考えております。 | |

| | | | | | | |
|----------|---------------------------------------|--|------|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | 管理者が契約時に一通りの説明の機会を設けており、利用開始後も保護者の皆さまからの疑問やご相談には、その都度丁寧に対応させていただいております。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | ヒアリングやアセスメントを通じて、子どもやご家族の意向を丁寧に確認した上で、個別支援計画書の作成を行っております。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | 個別支援計画書の内容を示しながら保護者の皆さまに丁寧に説明を行い、ご理解と同意をいただいております。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | ご家族からご相談をいただいた際には、その都度面談の機会を設け、必要な助言や支援を丁寧に行っております。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 20% | 80% | | 保護者交流会などの機会は設けておりますが、保護者同士や兄弟間の積極的な交流を十分に促進することはできておりません。今後の課題として、より交流の機会を充実させる取り組みを検討してまいります。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | 苦情対策委員会を設置しており、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応できる体制と手順が確立されています。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | 定期的にお便りを発行するとともに、ホームページやSNSでの情報発信も行い、保護者の皆さまや関係者への周知に努めております。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | 個人情報につきましては、鍵付きの書庫にて厳重に管理し、適切な取り扱いを徹底しております。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 60% | 40% | お便りや各種連絡ツールを活用し、活動後の振り返りができるよう配慮しています。 | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 80% | 20% | 弊社で運営しているサッカーチームの観戦などを通じて、地域と連携した活動を行い、地域に開かれた事業運営を意識しています。 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 40% | 60% | | 各種マニュアルは教室内に掲示しておりますが、保護者の皆さまへの周知徹底には至っておりません。安心して通所していただくためにも、今後は保護者会などの機会を通して、万が一の場合の対応について知っていただけるよう努めてまいります。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | 年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施し、万一の事態に備えた安全対策の徹底を図っています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 40% | 60% | | 服薬に関しては、現状では職員全員が正確に状況を把握できているとは言えません。今後は保護者の皆さまと連携を密にし、情報の共有や確認を徹底することで、正確に把握できる体制を整えてまいりたいと考えております。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | 契約時には、アレルギーの有無について丁寧に聞き取りを行い、必要な対応ができるよう徹底しております。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 20% | 80% | | 現状は集合住宅の一室での運営であるため、どうしても死角が発生してしまう状況です。今後は環境の改善や配置の工夫を検討し、より安全な支援体制の確保に努めてまいります。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 40% | 60% | | 子どもの安全確保に関する取り組みについては、安全計画に基づき対応しておりますが、ご家庭への周知徹底には至っておりません。安心して通所していただくためにも、保護者会などの機会を通して、安全計画の内容をご理解いただける場を設けてまいります。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 80% | 20% | 報告書を作成した上で、再発防止に向けて職員間でのミーティングを実施し、情報共有と改善策の検討を行っております。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | 支援に関わる職員は、必須の研修を受講しており、専門性や意識の向上に努めた上で、責任を持って支援に取り組んでおります。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | 身体拘束の事例はありませんが、管理者は契約時や個別モニタリングの際に、事前に内容を丁寧に説明し、保護者の了承を得た上で個別支援計画書を作成する体制が整っております。 | |